

2020年PDCAサイクル実施状況

*ワーキンググループ以下WGとする。

WG名	院内がん登録	化学療法	緩和ケア	医師会などの地域連携	がん相談支援	医療指標およびがん診療委員会ホームページ教育研修	クリニカルパス	放射線
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 2019年症例の登録及び提出 全国がん登録への協力（週り調査など） 予後支援事業への協力 院内がん登録の状況をホームページにて情報開示をおこなうとともに随時更新していく。 全国がん登録登録様式に沿った2019年症例の作成 	<ul style="list-style-type: none"> がん化学療法を受けている患者家族への多職種間の連携による継続支援 外来にて抗がん剤を開始する患者への継続支援 レジメン審査委員会の定期開催 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催 地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催・事例検討会開催 院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携協議会の定期的開催 医師会との症例検討会の実施 開業医参加によるキャンサーボードの定期開催（呼吸器・消化器・外科カンファレンス） 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者情報交換会「たんぼほ会」の定期開催 がん患者会初回ワキワキ香川への協力 がん相談員基礎研修及び指導者研修への参加（Webも含む） がん相談員研修・交流会、地域支援フォーラム・QA研修等への参加（Webも含む） 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者のニーズに対応した情報の適宜公開 	<ul style="list-style-type: none"> がん（大腸・胃）のパスについて地域医療機関との連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療に関する相談への対応（治療内容、副作用など） かかりつけ医などからの放射線診断依頼に対する協力
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 院内がん登録2019年症例を10月までに完成し、国立がんセンターへ届出（8/19提出済） 週り調査・予後支援調査に参加する。（2019年10月に週調査2017年症例10/31提出済み） 全国登録へ2019年症例の届出（2020年8月21日済） ホームページに2017年登録状況を掲載 中級者認定更新試験受験（11/6）認定期間2024年までを取得 全国がん登録に沿った登録様式情報に順次対応中 全国がん登録提出後のエラー対応実施 	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学療法開始時、治療変更時、専門職による情報提供として服薬指導、栄養指導、口腔ケアを実施した。また、病棟・外来看護師が中心に副作用マネジメントできる様にがん化学療法看護認定看護師が情報集約し、支援した。 治療中の患者に対しては、服薬管理や有害事象を含めた症状に対し、多職種で関わり、予防と症状軽減に努めた。 外来化学療法室で治療を受ける患者に対し、がん専門薬剤師も関わり、薬剤説明、有害事象のマネジメントを看護師とともに行った。また、有害事象に対し、主治医へ薬剤の処方提案を行った。 院外薬局への情報提供と連携を行った 免疫関連副作用（irAE）早期発見に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療に携わる医師対象の緩和ケア研修（PEACE）開催 令和2年10月9日実施 参加者 7名 地域の医療従事者に対する緩和ケア研修開催 令和2年9月13日実施 参加者 7名 緩和ケア勉強会 「治療と併存する心不全の緩和ケア」 講師：兵庫東立姫路循環器病センター 大石 雅浩先生 参加者 89名 緩和ケア研修会 「ACPIについて」 講師：緩和ケア認定看護師 白川 律子 参加者 48名 院内の医療従事者に対する緩和ケア研修開催 令和2年11月6日 「倫理」研修会 がん看護「研修会」 令和2年10月14日 	<ul style="list-style-type: none"> 医師会との症例検討会実施 令和2年10月9日実施 「CTガイド下肺生検」 放射線科 黒川 浩典医師 令和2年11月13日実施 「健診発癌胃GISTの外科治療」 外科 吉田 修医師 令和3年1月8日実施 「前立腺癌治療の最新情報2020年度版」 泌尿器科上松 克利医師 令和3年3月12日実施 「妊孕性温存のために卵巣凍結を行った急性骨髄性白血病の2症例」 産婦人科 兼森 雅敏医師 呼吸器カンファレンス開催 （毎水曜日 16:30～） 消化器カンファレンス開催 （毎火曜日 17:15～） 外科カンファレンス開催 （毎木曜日 16:00～） 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者情報交換会「たんぼほ会」実施 令和2年5月27日 中止 「乳がんについて」 外科主任部長 久保 雅俊 令和2年8月26日 実施 「抗がん剤の副作用について」 がん化学療法看護認定看護師 伊加 由美 令和2年11月25日 実施 「笑顔で食生活を過ごしたいあなたへ」 管理栄養士 河原 由貴子 令和3年2月24日 実施 「お口を守る鍵 ふたつの「ほ」」 主任歯科衛生士 高橋 弥生 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルのホームページ公開（2021年4月、2020年版） 2017年院内がん登録情報のホームページ公開 電光掲示板による「たんぼほ会」開催表示を継続中。 緩和ケア研修会関連の情報提供 患者・家族への情報提供のための市民講座「みとよサブリ」の掲載 	<ul style="list-style-type: none"> がんステージングのためのCT、PET-CTの撮影及び診断（遠隔による診断も含む） 放射線治療の実施（他院治療のみにも対応） 病棟と連携し、放射線治療・化学療法中の口腔ケアの導入を開始 化学療法・放射線治療 月平均60名 新規連携医療機関の確保を継続中。 令和2年度連携医療機関数 胃癌 14件（変動なし） 大腸癌 14件（変動なし） 肺癌 3件（変動なし） 前立腺癌6件（変動なし） 乳癌 1件（変動なし） 連携パス実施件数 2020年は0件 	
ミーティング開催状況	毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告	<ul style="list-style-type: none"> 原則月1回 毎月第2木曜日に、がん化学療法看護認定看護師から報告 毎月第2木曜日がん診療委員会にて進捗状況を報告 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日に緩和ケアチームカンファレンス開催 毎月第2木曜日がん診療委員会、緩和ケアWGの活動状況報告と研修会等の案内 	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告	毎月第2木曜日がん診療委員会にて活動状況を報告
今後の課題改善点	<ul style="list-style-type: none"> 提出期限の短縮化がおこなわれている上に、今までになかった情報公開、他の調査への協力が生じており、それに対して迅速に対応する必要がある。情報公開については、情報を更新しつつ、適宜、情報項目を増やせるようにしていく。 全国がん登録開始による登録様式の変更など、随時内容を把握し、迅速に対応する必要がある。中級認定更新時に登録精度の不十分な点を改めて認識し、精度向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 経口抗がん薬（TS-1、セゲラ）治療中の患者に対して、各科で診療前に有害事象チェック表を用いて評価を行い、必要時、主治医報告、各専門職が介入していく。 免疫関連副作用（irAE）への対策を検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> がんと診断された時から介入できるように、外来部門との連携を強化する。 がん看護リンクナースの育成を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 他医療機関と顔の見える関係づくりに力を入れ、互いに信頼できるよりよい連携を行えるようにする。 ホームページ等を活用、見直しし、より分かりやすい広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談員の研修等について、新たに看護師や社会福祉士が参加できるように調整していく。 両立支援窓口を院内外へ周知していく。 ハローワーク観音寺と連携する 	<ul style="list-style-type: none"> がん拠点病院としての情報の提示が必要に応じての提示のみである。今後は、随時各項目に即した更新、追加ができるように掲載内容の見直し、検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携医療機関は、徐々に増加しているが、連携パス実施に至っていない。 連携パスについての周知が不十分のため、今後は、周知および実施の働きかけをおこなっていく 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の副作用について患者・家族への周知はできているが、具体的な介入事例は発生していない。今後はいかに早期に発見・介入できるか検討が必要である。また、新規放射線治療の件数が減少しているため、医局会などで該当しそうな患者がいるか各担当医に検討してもらうように依頼していく。
2021年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> 新規登録・調査提出期限を厳守し、必要に応じて、院内がん登録統計情報更新をおこなう。 登録の精度向上のため、必要に応じた研修受講に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き化学療法を受けている患者家族への継続支援 免疫関連副作用（irAE）発現時の関連診療科と連携 「アゴリス」作成し、異常の早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修会と事例検討会の継続 外来や在宅との連携 ACP実施のため、研修会参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔の見える連携の強化 関係医療機関への広報活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談指導員の育成と研修会参加などを行い、相談員の質の向上を図る 両立支援についても啓発活動をする 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者に対する治療情報や実施状況の掲示と随時更新 上記以外のがん治療などの情報の公開、随時更新 	<ul style="list-style-type: none"> 各医療機関との連携を図る際のパスの導入方法を検討し、パスを使った連携の件数の増加をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> 治療の副作用へのスクリーニングと対応手順の確立 放射線治療件数の確保